

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム楽家生

作成日 平成28年12月13日

評価結果

市町提出日 平成28年12月27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	総合避難訓練を通じて、過去の反省点や職員の動きの確認を行っている。また消防署職員からアドバイスをもらい、推進会議等を通じて地域の代表者に意見をいただいている。ただ、職員が変わった時などは再度認識を促していく必要があり、また個々で防災に対する認識レベルに相違がある。	訓練時だけでなく、普段から防災に対する意識づけを持ち、いざという時でも手順通りの動きができる。	災害時のフローチャートを作成し、日ごろから防災時の手順方法を確認する機会を作る。また新人職員が入社した場合は、その都度防災に対する研修等を実施する。	3 か月
2	49	グループホームが2階にあるため、利用者様によっては環境上、ある種の違和感があるかもしれない。	季節感を感じる日差しや風など、外部環境に身近に触れ合える機会を持つことができる。	天気の良い日や利用者様からの申し入れがあった場合、できる限り散歩やベランダでの日光浴など、ちょっとした自然を感じる機会を持つ。また事業所では行けない外出の希望があった場合は、電話や毎月職員から家族様へお出ししている手紙を通じて、その内容について伝達する。	1 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。